

本部だより

●第 32 号



マーシャル方面遺族会

<http://mibfa1926.com>



携帯サイト

- 環礁・本部だより第32号 ●発行日：平成27年8月1日 ●発行人：井上賀雄
- マーシャル方面遺族会本部：〒180-0013 東京都武蔵野市西久保2-21-11
- 電話 & FAX：0422-56-1847 ●振替番号 00160-3-567561



ルオット島 海軍司令部跡

新会長ご挨拶



井上賀雄会長

平成27年度の定期総会で新会長に選任された井上賀雄でございます。

当遺族会は黒川前会長はじめ、立派な歴代会長の並々ならぬご尽力、役員及びご関係皆さまのご協力、更には会員の温かいご支援のおかげをもちまして遺族会として世上例を見ない活動を続けることができ、輝かしい成果をおさめて参りました。

早いもので、遺族会結成から今年で52年目となりました。昭和42年、浮田信家氏・佐竹エス氏のお二人が半年間かけての現地事情調査から始まり、遺族会の念願だった現地慰霊碑の建立・慰霊団の訪問と歴代にわたっての活動を続けてまい

りました。

また会誌「環礁」「本部だより」の発行、ホームページの立ち上げなど、当遺族会は私たちにとつても、大切な心の拠り所になっています。

昨年秋には靖国神社・遊就館において、写真展「マーシャル群島遥かなり」を開催し、好評をいただきました。関係の皆さま大変ご苦勞様でした。

戦後70年、会員の高齢化もあつて当遺族会の存続が危ぶまれる時期もありましたが、昨秋、会員に遺族会存続についてのアンケートを実施し、多くの方々から遺族会維持存続のご要望をいただきました。

4月の定期総会で新役員が下記の通り決定。その後の役員会でそれぞれ役割分担（慰霊、広報、総務、会計）を決め、副会長3名、常任幹事2名、幹事10名、監事1名が決まりました。

当面は、遺族会の長年に亘る書類、資料などの確認から始め、かなりの時間がかかると思われれます。会の運営が一日も早く軌道に乗りますよう、新役員一同、努力いたしますので、引き続き皆様のご

支援ご協力をお願いいたします。

■平成27年度・新役員（17名）

- | | |
|------|-------|
| 会長 | 井上賀雄 |
| 副会長 | 高林芳夫 |
| 副会長 | 山口良二 |
| 副会長 | 米林義昭 |
| 常任幹事 | 川端堅太郎 |
| 常任幹事 | 鈴木千春 |
| 幹事 | 石澤洋子 |
| 幹事 | 岡村勝利 |
| 幹事 | 葛西勉 |
| 幹事 | 小室洋子 |
| 幹事 | 佐藤知子 |
| 幹事 | 清水雅尚 |
| 幹事 | 中村順子 |
| 幹事 | 星野綾子 |
| 幹事 | 宮城勇 |
| 幹事 | 吉田正明 |
| 監事 | 内海淑子 |



前列左より 山口氏、井上会長、高林氏、中列左より 佐藤氏、米林氏、清水氏、星野氏、内海氏、中村氏、後列左より 鈴木氏、小室氏、米林氏、吉田氏、岡村氏、葛西氏 (5月の役員会にて撮影)

平成27年度 慰霊祭報告

山口良二

平成27年4月5日(日) 午前10時

今回は受付を済ませた後、参集殿2階の「桜の間」に控え室の用意がありました。予定時間の10分前に、神社側より、当会の「前の団体の慰霊祭が遅れているため、少々開始が遅れる」との連絡がありました。が、ほぼ予定通りの進行となりました。

10時に神社側より、指示があり1階の参集殿へ向かいました。

黒川会長、玉串奉奠者を先頭に、拝殿へ進み、お祓いを受け、いよいよ本殿へ。ちよつと寒い本殿でしたが、供物の奉奠、神官による祝詞奏上、黒川会長の祭文奏上、全員で参拝して慰霊祭は無事終了しました。

今回の慰霊祭参加者は以下の通りです。
(敬称略)



■慰霊祭参加者(敬称略)

- 青森県 須藤明子 山形県 長岡正昭 宮城県 安藤としえ 福島県 酒井則夫 酒井昭子 栃木県 岡村勝利 菊地彦巨 新潟県 山田裕史 山田摩希子 富山県 島正光 千葉県 相川孝夫 川端堅太郎 川端博美 東京都 居戸和由貴 石塚省吾 石塚文子 井上賀雄 井上庸子 内海淑子 黒川 誠 笹 幸恵 鈴木千春 中村順子 中村秀夫 番場信子 福永弥生 星野綾子 間々田征史 間々田邦子 山口良二 米林義昭 米林美智子 埼玉県 大井和子 小田原利子 小田原靖 小田原巧磨 小田原明璃 小野博孝 小野トキ子 葛西 勉 小松順子 小室洋子 佐藤知子 高林芳夫 西勝章夫 眞鍋信一 眞鍋公代 神奈川県 秋山正之 石澤洋子 糇谷友孝 清水雅尚 鈴木 進 鈴木友季子 服部政久 松江正子 安威和子 愛知県 浜田芳枝 浜田道徳 目黒一誠 目黒知子 岐阜県 吉田正

- 明 堀尾洋平 堀尾晃平 愛媛県 波頭幸弘 波頭友子 渡部 守 渡部幸典 渡部俊哉 渡部一力 香川県 金森越哉 福岡県 石松順子 平田郁子 沖縄県 宮城 勇 宮城邦子



■定期総会

同日 午前11時～11時30分
場所：靖国神社参集殿 桜の間

出席役員…黒川会長、高林幹事、

山口幹事、井上幹事、

内海監事

欠席役員…草場幹事、晝間幹事、

岡野幹事

出席会員…約70名

今までは慰霊祭終了後、靖国会館前で集合写真の撮影の後に、総会を行っていましたが、今回は会長交代議事があるため、慰霊祭終了後、すぐに総会を開くことになりました。

総会議事は以下の通りでした。

1. 開会の辞

司会の井上幹事により開会の挨拶の

あと、山口幹事を議長に指名。

山口議長より開会の宣言。

2. 黒川会長より挨拶及び会務報告

黒川会長から「今日の総会をもって、会長を退任する」旨発言があった。会務報告については、先日発行の本部だよりを参照したい旨発言があった。

3. 黒川会長より会計報告

詳細は当日の配布資料を参照。

4. 内海監事より会計監査報告

3月18日に会計帳簿等を監査し、適正に処理されていて、問題ないことが報告された。

5. 役員の変更、新会長の選出

議長より3月18日の役員会において井上幹事を次期会長に推挙することを決議しており、総会出席の方々に承認を求めたところ、満場一致で承認され井上幹事が新会長に就任した。

6. 新会長挨拶及び新役員の選任

井上新会長より、会長就任の挨拶。その後、下記の通り新役員の指名があった。

新役員は高林氏、山口氏、米林氏、川端氏、鈴木氏、石澤氏、岡村氏、葛西氏、小室氏、佐藤氏、清水氏、中村氏、星野氏、宮城氏、吉田氏。監事については、内海氏を推薦したところ、満場一致をもって承認された。

7. 国内慰霊行事について

黒川前会長より説明。

8. 現地慰霊について

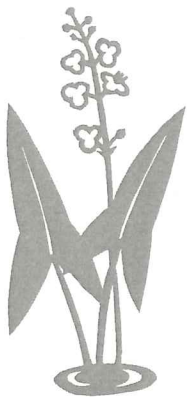
高林幹事より説明。

9. 議長より閉会が宣言され、定期総会は終了した。

■ 慰霊祭直会

同日 12時～14時半
場所…靖国会館2階

総会終了後、参集殿から移動して正午頃より高林幹事の司会で開会しました。参加者は年々少なくなり、ちょっとした直会でしたが、その分、皆さん親密な感じで歓談できたように思えます。自己紹介を兼ねて参加者より一言ずつ、お話をいただき、午後2時過ぎにお開きとなりました。



千鳥ヶ淵戦没者墓苑拝礼式

高林芳夫

晴天の平成27年5月25日、秋篠宮同妃両殿下のご臨席を仰ぎ、12時30分に開式されました。

一同、国歌斉唱ののち、厚生労働大臣が式辞を述べられ、納骨を行いました。次に秋篠宮同妃両殿下が御拝礼になりました。

続いて、皇宮警察音楽隊の演奏のなか、内閣総理大臣、遺族代表、関係国駐日大



星野氏、高林氏、内海氏が参列しました

使、衆議院厚生労働委員長、参議院厚生労働委員長、外務大臣、環境大臣、防衛大臣、各政党代表、各関係団体代表、厚生労働大臣が花を献じました。関係国駐日大使の中にはマーシャル諸島共和国のアネット・ノート公使が献花されました。

今回の式典では、政府が派遣した戦没者遺骨収集帰還団等がビスマーク・ソロモン諸島、ロシア等で収容した戦没者の御遺骨のうち、御遺族に引き渡す事ができない二千四百九十八柱が同墓苑に納骨されました。

既に納骨された御遺骨とあわせると同墓苑に納められている御遺骨は三十六万二千五百七十柱となります。

・皇宮警察音楽隊・演奏曲

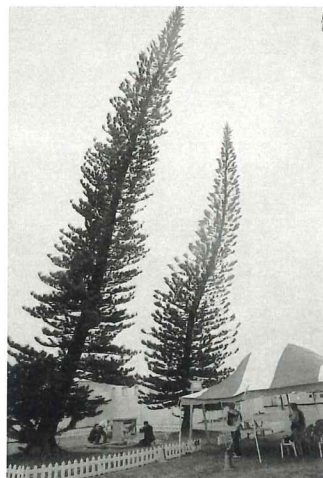
指揮者 渡辺浩二

曲 目 松本秀喜作曲 慰霊の曲

安西愛子作曲 悲しみ越えて

斎藤高順作曲 慰安する

現地慰霊のご案内



*マーシャル方面遺族会主催

現地慰霊

5月役員会において、現地慰霊の時期を検討いたしました。現地米軍基地の都合、天候など考慮し、来年1月にいたしました。

◆実施時期 平成28年1月中旬

慰霊訪問する島

クエゼリン・ルオット両島

アンケート時に、参加表明された方に、詳細が決まり次第、ご連絡いたします。

(お問合せ先事務局・高林

090・3337・4531)

*日本遺族会主催

戦没者遺児による
慰霊友好親善事業

この事業は、戦没者遺児に対する慰霊の一環として父等を国に捧げた戦没者の遺児が一度は亡き父等の眠る地へ赴き心ゆくまでの慰霊追悼を行うとともに、現地の方々との友好親善を深めることを目的としたものです

(お問合せ先 日本遺族会事務局)

03・3261・5521

◆実施地域

マーシャル・ギルバート諸島
クエゼリン・マジユロ・
ウオッセ・マロエラップ
ヤルト・ミレ (機上遥拝)
マキン・タラワ

実施時期

平成27年12月5日～13日
8泊9日

費用

10万円
参加資格 戦没者の遺児

募集人員

36人
申込方法 在住する各都道府県遺族会

事務局へ

申込み締切り 平成27年8月22日

◆実施地域 洋上慰霊

南西諸島、台湾・パシール海
峡、フィリピン東方沖、パ
ラオ諸島沖、マリアナ諸島
沖の各海域

実施時期 平成28年2月下旬～

3月上旬 9泊10日

費用 10万円

参加資格 戦没者の遺児

募集人員 400人

申込方法 在住する各都道府県遺族会

事務局へ

申込み締切り 平成27年12月5日

寄付者芳名 (敬称略)

・平成26年5月～12月

山形県 秋保十郎 高知県 藤田洋子 千

葉県 村田恵子

・平成27年度

北海道 岩川あい 青森県 須藤明子 岩

手県 佐藤亨三 福島県 富田キミ 根本

さとみ 遠藤貞顕 酒井則夫 茨城県 神

永栄子 栃木県 猪瀬康夫 菊地彦巨 千

葉県 相川孝夫 腰川妙子 泉水堯恵 高

山満喜男 廣原 實 宮崎 實 川端堅太

郎 埼玉県 天野好子 小田原利子 小野

博孝 片桐覚治 小室洋子 鈴木裕子 高

林芳夫 西勝章夫 諸橋恒一 吉原利美

東京都 石川 勲 井上賀雄 内海淑子

大給湛子 黒川 誠 鈴木千春 高坂和靖

田中 猛 中村順子 西田寿子 番場信子

星野綾子 間々田征史 山口裕子 神奈川

県 石澤洋子 榎本益明 糀谷友孝 岡野

智津子 鈴木友季子 山梨県 黒川正文

長野県 油井芳枝 新潟県 石丸 進 山

田昭雄 静岡県 大畑幸夫 野崎昭二 岐

阜県 吉田正明 堀尾洋平 富山県 廣島

富子 京都府 東地井義訓 広島県 浦手

清司 奥井禮子 佐々木千鶴子 瀬戸隆子

鳥取県 井上照美 香川県 石川正興 富

田佳代子 愛媛県 長岡俊夫 馬場 清

三好エミ子 山村一郎 渡部 守 高知県

徳弘菖子 野島鶴美 橋本勝彦 福岡県

平田郁子 吉松貞子 佐賀県 金子 茂

熊本県 土田利子 長崎県 山下タエ 沖

縄県 宮城 勇 会友 郡 義典 兵頭義

彦

ありがとうございました。



訃報

池田淑子さん 鶴沼久義さん

晝間志津子さん 松木孝子さん

柳村摩耶子さん 山形雅俊さん

吉田 綾さん

謹んでご冥福をお祈りいたします。

靈砂について

次の各島の靈砂がございます。残量はわずかです。

8月15日までに、事務局・高林（090・3337・4531）までお申込みいただいた方に、少量ずつですが、お分けいたします。

- ①クエゼリン ②ウオッセ ③マロエ
- ラップ ④タラワ ⑤ヤルト ⑥マキン
- ⑦ブラウン ⑧ナウル ⑨トララック
- ⑩オーシャン ⑪メリレン ⑫リキユック
- ⑬ウジアイ ⑭メジチ ⑮サイパン
- ⑯ウートロック ⑰クライ ⑱テナアン
- ⑲ポナベ ⑳ロンゲラップ ㉑アイ
- ルック

平成26年度政府派遣

マーシャル諸島慰靈巡拝報告

清水雅尚

平成27年3月7日～15日にかけて、かねてより希望していた長兄・克郎の玉碎地であるクエゼリン島を始め、5島の巡拝の旅に行ってきました。

集合は成田空港近くのホテルで参加者は12名でしたが、全国からの参加の為、出発前日の結団式となりました。翌8日に成田発グアムにて一泊、9日に島伝いに寄港しながら夕刻クエゼリンに到着しました。

到着すると雨風まじりの天候でしたが、旅行期間中同じような天候に悩まされませんでした。12月～2月にかけては雨が一滴も降らなかったとのことでしたが、あとで知りましたが、駐マーシャル諸島大使・同夫人、米軍関係者が迎えてくれました。

クエゼリンは全島米軍基地のため、米軍のゲストハウスでの宿泊となり、夕食は米軍の食堂でバイキング形式の食事でした。

後日マジユロの食事と比べると豪華と

言って良い内容でした。特にフルーツのうまさは日本でも食べられないものでした。

翌10日はチャーター機でクエゼリン環礁の北島ともいえるルオット島(旧ロイ・ナムル島)へ。この島も全島米軍基地ですが、感心したのは戦場跡地が多く保存されていることで往事の状況を忍ぶことができました。同島では雨風まじりの中、丁寧な慰靈式を行いました。ヤシの並木、サングの細かい破片でできた海岸の美しさは心に沁みるものでした。

11日はクエゼリン島の島内をめぐり慰靈式を行いました。クエゼリン島では戦跡のほとんどが整理されており、トーチカが一カ所だけ残っていました。米軍が最初に上陸した場所は軍用機器が大量に赤茶けたまま放置されていました。この地点では日本軍は米軍を押し戻したのですが、どうしてこんな狭隘な場所を上陸地点に選んだのか不思議な思いもしました。

空港南端にある慰靈碑の立つ日本人墓地で、基地司令官のサドラー大佐も同席され慰靈祭を行いました。この区域はよ

く整地されていて有難く感謝したいと思
ます。伝え聞いてはいましたが碑の材料は
日本から持ち込み、特に前面にある日本列
島の都道府県の位置には、それぞれの地方
の石が貼り付けられているのを実際に見て
感慨を催しました。建立時に植えられた両
脇の人の背丈ほどの木も大きくなり、見上
げるまでになっております。

帰国後知ったことですが、慰霊碑のあ
る一画には戦没者の遺骨が大量に埋めら
れているとのこと。出来れば早く日本に
帰してやりたいとの思いが募りました。
政府も動き始めているようなので、ぜひ
実現させたいと思います。

旅の後半（マジユロ以後）は次回に記
載させていただきます。



クエゼリン島の慰霊碑

編集部からのお知らせ

「軍歴証明書」について

軍歴証明書（通称・兵籍簿）とは、軍隊
に入隊後、どの部隊に所属し、どの戦地に
行ったか等の記録が書かれたものです。

*入手方法

陸軍と海軍で、入手方法が異なります。

左記に連絡して、必要な書類（本人確認
書類や戸籍など）を揃え、申請をしてくだ
さい。

・海軍…厚生労働省 社会・援護局

調査資料室

03・3595・2465（直通）

・陸軍…各都道府県庁（戦没者の出生地、

終戦当時に本籍があった都道府県）

*県により、社会援護課または福祉課で
あったり、名称が異なるため「軍人恩給を
取り扱う課」と言って内線を回してもらっ
てください。申請してから、数か月で軍歴
証明書の写しが送られます。ただし、部隊
によっては、入手できない場合もあります。

●「靖国偕行文庫」の紹介

お宅に眠っている軍事関係図書（戦史、
戦記、戦友会会報、資料等）があり、ご
不要の場合、靖国偕行文庫に是非「ご奉
納」ください。戦争経験者、証言者が減
少する中、貴重な「資料」が処分され、
なくなってしまうのを、後世の研究者
のためにもご寄贈をご検討ください。

靖国会館一階にある靖国偕行文庫は、
英霊の戦歿された当時の調査資料を整備
し、その御遺徳を顕彰するとともに、後
世の研究に資することを目的とした図書
館です。靖国偕行文庫には、約13万冊の
図書資料が収蔵、その主体は戦史・戦記・
部隊史・教程・教範類・英霊の追悼録・
回想録、等「日本近代軍事史の専門図書
館」です。

●軍事関係図書のご奉納は常時、受け付
けております。（郵送にてご奉納される
場合は、予め職員にご相談下さい。）

開館時間 午前9時～午後4時30分

休館日 毎週月・木曜日（祝祭日にあた
る場合は翌日が休館）年末の3～4日間
靖国偕行文庫

TEL 03・3261・8041